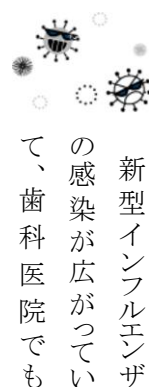


こだま新聞

第169号

平成21年11月

新型インフルエンザ



新型インフルエンザの感染が広がっている、歯科医院でも対策が必要となっています。

新型に限らず、インフルエンザウイルスによる感染は飛沫（ひまつ）感染と接触感染が主となっています。

飛沫（ひまつ）感染する（咳、くしゃみで飛び出す唾液に含まれるウイルスが直接鼻や口の粘膜、目の表面に付着して病気が移る）距離は2メートル以下と言われていますので隣に座っている人の咳を直接浴びる状況でないと感染する危険は少ないようです。

新型インフルエンザは発熱、悪寒、鼻づまりなどの風邪症状がなくても感染する力



があるとされていますので、咳くしゃみをしている人は待合室にあるマスクをしていただくようお願いいたします。

問題は接触感染です。感染している人が鼻

をかんだり、鼻をこすつたりすると

手にウイルスがた

くさん付着することになり、その手

でドアや家具などに触れるとそこにウイルスが残ります。そこへ知らないでウイルスの付着したドアや家具などに触れる

と次の人の手にウイルスが付着します。その手で鼻をこすつたり、目をこすつたり、お菓子などを食べると感染すること

があります。これが接触感染です。

接触感染を防ぐためには、多くの人が使用するものに触れた時に手指をよく洗うこと



です。消毒剤を使わなくても流水でよく手洗いするだけで付着したウイルスはかなり少なくなり、感染しづらくなります。感染を防ぐために、治療室の器具は患者ごとに交換して消毒したものを準備し、椅子などは消毒液で拭き取っています。

しかし、待合室やトイレ、玄関などについては患者さんごとに消毒できないのが実情です。そこでお願いがあります、病院や診療所には様々な人が出入りしますので、待合室にある消毒剤で手を消毒して感染予防にご協力ください。ここの待合室やトイレに手指を消毒するアルコールジェル消毒液が備えてあります。

手のひらに少量出していただき、そのまま指先や指の間にこすり付けていくと自然に乾燥します。ご利用ください。新型インフルエンザの免疫ができるのに1年から2年かかるそうですから、今年は何人も免疫を持っていません。それで、新型インフルエンザに

感染するとはとんだの方は発病しますの十分ご注意ください。



診療所の職員は発熱や咳が出たときはインフルエンザの検査をし、新型のインフルエンザを発症した場合には感染力がなくなるまで休んでもらうことになっています。

診療所でも加湿器や消毒液などで感染しないよう十分注意しますが、皆様もうがいをする、十分な睡眠をとることなど自主対策に努めてください。お願いいたします。

「浦城址」案内

11月3日に今年最後となる浦城跡（高岳山）の整備が行われました。雇用促進事業として行われた城跡の間伐や整備によりシヤングルのような城跡は公園のように整備されました。皆様も一度上って体験してください。



整備が進む浦城二の丸付近

今月・来月の行事

11月

- 1日 小野恵子バレエ発表会
- 3日 浦城整備事業
- 4日 3歳児健診
- 6日 ギター弾き語り
- 7日 中村征夫ギヤラリー
- 湖東3町商工祭
- 12日 小学校歯磨き教室
- 16日 3歳児健診
- 19日 中学校健康教室
- 22日 わかさぎ釣り大会
- 23日 八郎湖の再生
- 28日 幼稚園発表会